



閃光纏姫 フェリシア

~狙われた憑依変身ヒロインの肉体~

原作: 憑依好きの人

作画: 孝至



ヴァイオレット・
パニッシャー！

ぐああああっ！！

これで終わりね！
観念しなさい

光里油断しないで！
まだ何か企んでる
かもしれませんが

くくっ…その力
素晴らしいな本当に…

っ！待ちなさい！

またすぐに
会うことになる
その時を楽しみに
しておけ

逃げられちゃいましたね

うん…でも
街のみんなを
守ることはできた

私は閃光纏姫フェリシア

異世界からの侵略者
アビステラーから
この世界を守るため
戦う正義の味方

ついこの間まで
ごく普通の女子高生
だった私は

あいつらに襲われそうに
なった時にアイリスと
出会いこの力を入れた

アイリスは
元々別の世界の
お姫様だったけど

アビステラーに国を
滅ぼされてからは
私たちが助けるために
こっちの世界に来て
くれたらしい

私は父も母も
そして民を目の前で
奪われました

あなたたちに
同じような想いを
させたくはありません

光里
あなたに私の
力を託します

そう言ってアイリスは
無力な私に力を貸してくれた

私はアイリスを自分の身体に
憑依させることでフェリシアに
変身することができる

これはアイリスの
「特別な力」のおかげで
アイリスが魂だけの状態に
なっているのもその力に
よるものらしい

私は先代の
王族から受け継いだ
「魂を操る力」を
自分に使うことで

彼らから
逃れることが
できました

それでもまだ戦うという
アイリスの決意を聞いた私は
胸が張り裂けそうになった

だから――

私と一緒に戦うよ

ですが肉体はもう
殺されている
ことでしょう

アイリスと一緒に
この世界を守ってみせる



お前の故郷からは
永久に失われた光景だな

この世界の夜は
こんなにも輝いて
いるのですね

っ!!
あなたは…
ヴォイド!

グル
グル
グル



とにかく今は
抜け出す方法を...

そこまで
気付かれて
いるなんて...!



まさかお前が
あのフェリシアの
力の根源になつて
いたとはな!

この世界の
どこかにいることは
掴んでいたが

お前が残した肉体の
魔力痕跡を解析して
追跡させてもらった



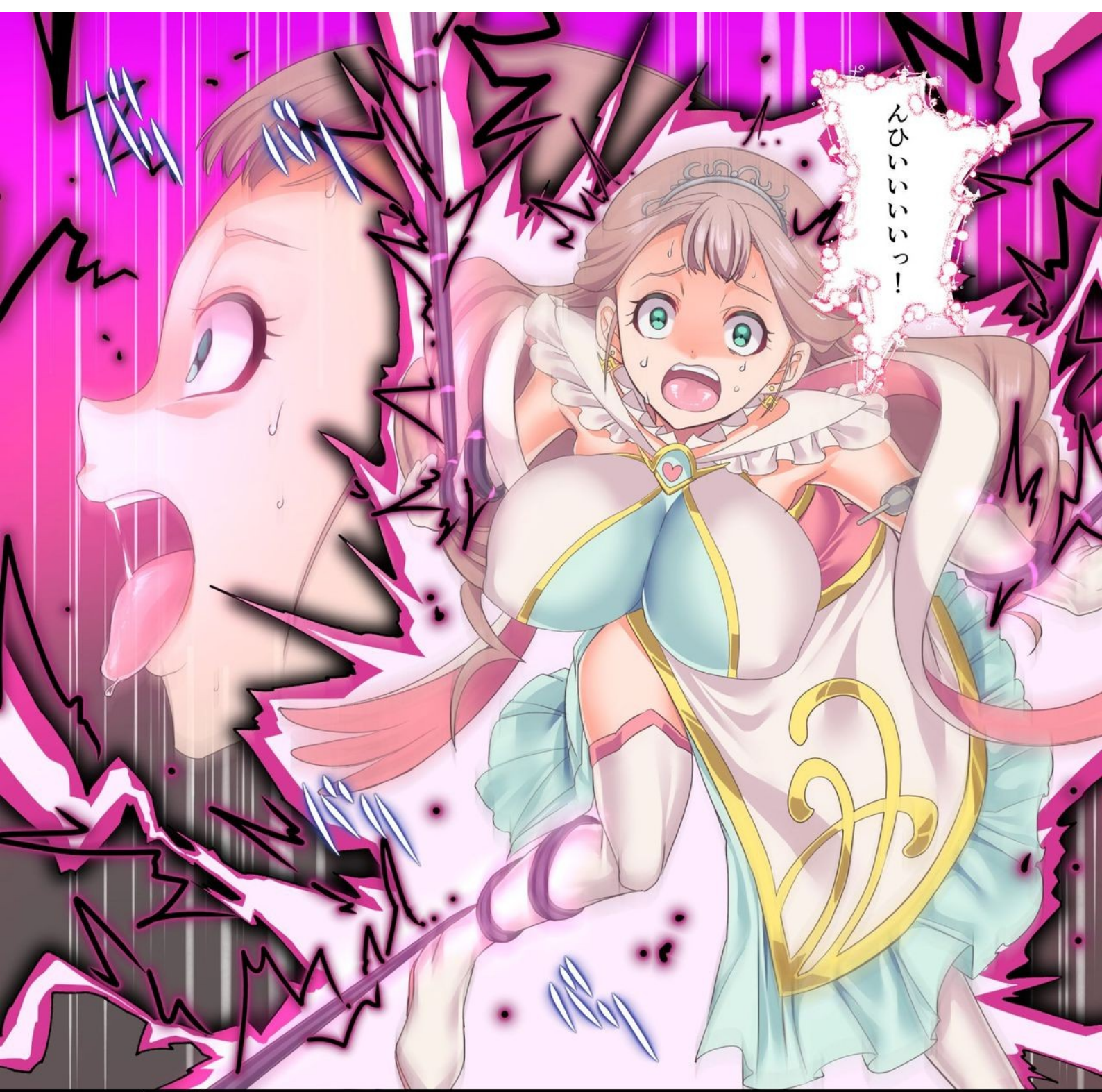
面と向かって
対話するのは
久しぶりだなあ
アイリス姫

確か...お前の父を
この手で葬った時
以来だ

くっ
どうして私が
ここにいると?!



おっと
逃げられると
思ふなよ?





ようやくお目覚めか？
ようこそアビステラー研究室へ

ヴォイド！

うっ……ここは…？



なにこれ！
抜け出せない！？

私を捕らえて
どうするつもり
ですか！



そう慌てるな
お前にぜひ
見せたいもの
があるんだ



なっ...!?

懐かしいだろ？

正真正銘お前が
俺たちから
逃げるために
手放した肉体だ



こうして大事に
保管して
やっってたんだ
感謝しろよ？



徹底的に
完膚なきまで
洗脳改造させて
もらった

一度捨てた
とはいえ
未練があるか？
くっつなら
教えてやるよ

私の身体に
何をしたん
ですか!!



まさか…!!

せんのう…？

精神不在の肉体
というのは実に
無防備だな

お前が抜け出して
からというもの
お前の脳には休みなく
アビステラー
…そして何より

この俺への服従と
忠誠心を直接
刻み込み続けた

再びこのカラダに
魂が宿った時
何の疑いもなく
俺の命令に従う

従順な下僕に
生まれ変わる
ようにな

ツリ

アイリス姫
お前の魂を
この肉体に戻し
俺の忠実な奴隷と
なってもらおう！

そして……く

まあその先は
お楽しみだ

いぢぢ

っ！

このままでは
まずい……！

無駄だ

お前は
俺のものに
なる運命
なんだよ

くっ！

こんな卑怯な手で
私を従えられると
思わないことです……！

あなたは必ず
私に肉体を
返したことを
後悔します

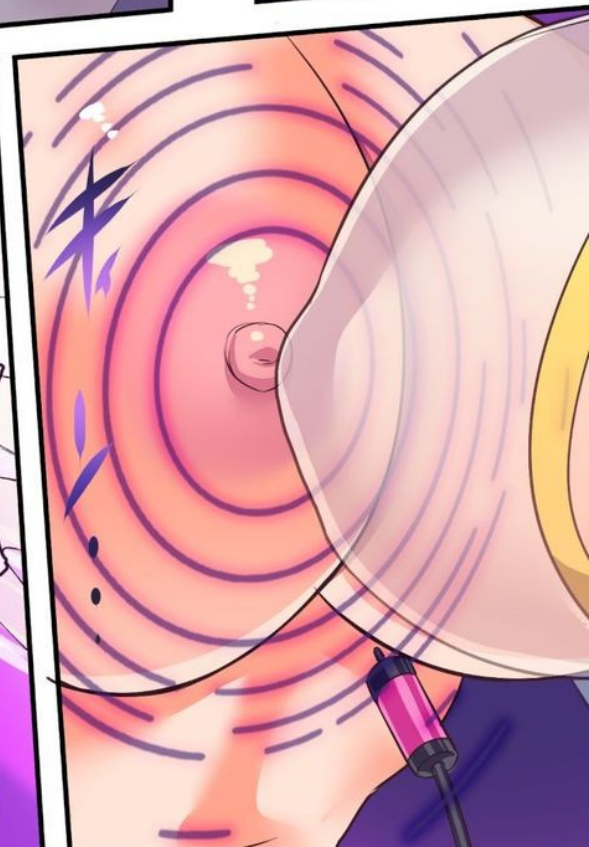
……させて
みせます！

ほう……それは
楽しみだ

ばた



これが私…？





なにこれえ…!!
なんなのこれええ!!

ああひいいいい!!

違うっ!
違うちがう!

ほう…?

私はあ!
アビステラーには
従わないっ!!

ヴォイドの
しもべには
ならないっ!!

あんな啖阿を
切っただけあつて
粘るじゃねえか

肉体と脳髄は
とつくと堕ちてる
というのに
精神の力だけで
堪えるとは…

さすがは誇り高き
亡国の王女様だ

だが無駄だ



お前は俺のモノだ!!

ダメよ私!
飲み込まれては
ダメ!

どうにか抵抗して
ここから抜け出すの!

気持ちいい気持ちいい
キモチイイ!!

こんなの...!!
こんなのってえ!

きもちいい...

あーあーあーあー
あーあーあーあー

あーあーあーあー
あーあーあーあー

でもどうして抵抗
しないといけないの
だったかしら

こんなにいいの？

あはあはあはあ

こんなのに
幸せなのに

あああ

ああもうダメ：
こんなの耐えられない

心の底から
ヴォイドに…

「ヴォイド様」
 いえ、
 従いたいと思って
 しまっているの
 に

光里
ごめんなさい…

私……
：このお方には
逆らえないみたいです





気分はどうだ？

はあ...はあ...はあ...

ふふふっ
生まれ変わったような
清々しい気分です♪



ほう...それは?

それは:
この身尽き果てるまで
ヴォイド様にお仕え
することです♡

これまでの非礼を
お許しください
ヴォイド様

アイリスは
貴方様のおかげで
本当の存在意義を
気付くことが
できました



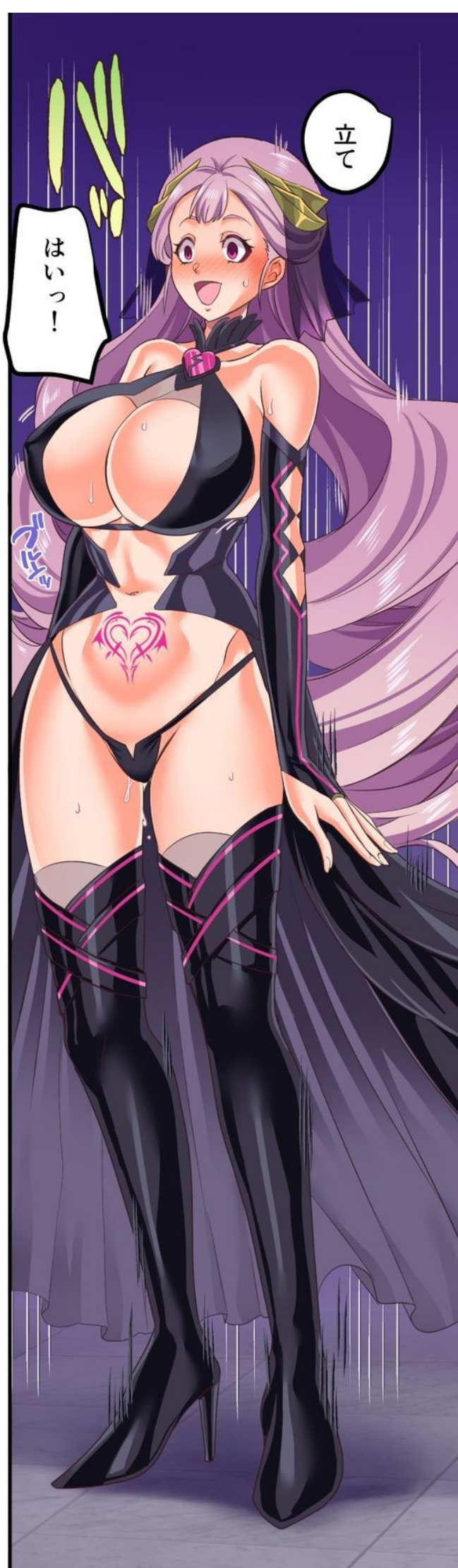
すっ...



くくっ
先ほども
生意気な口を
利いていた女とは
思えないな



へた...



アイリス
昨日の夜から
いないけど
どこ行っちゃった
んだろ……

まあそのうち
帰ってくるよね

今夜アイリスが
好きなドラマ
やるし……

あんな綺麗なお姫様が
恋愛モノが好きだったのは
ちょっと意外だけど

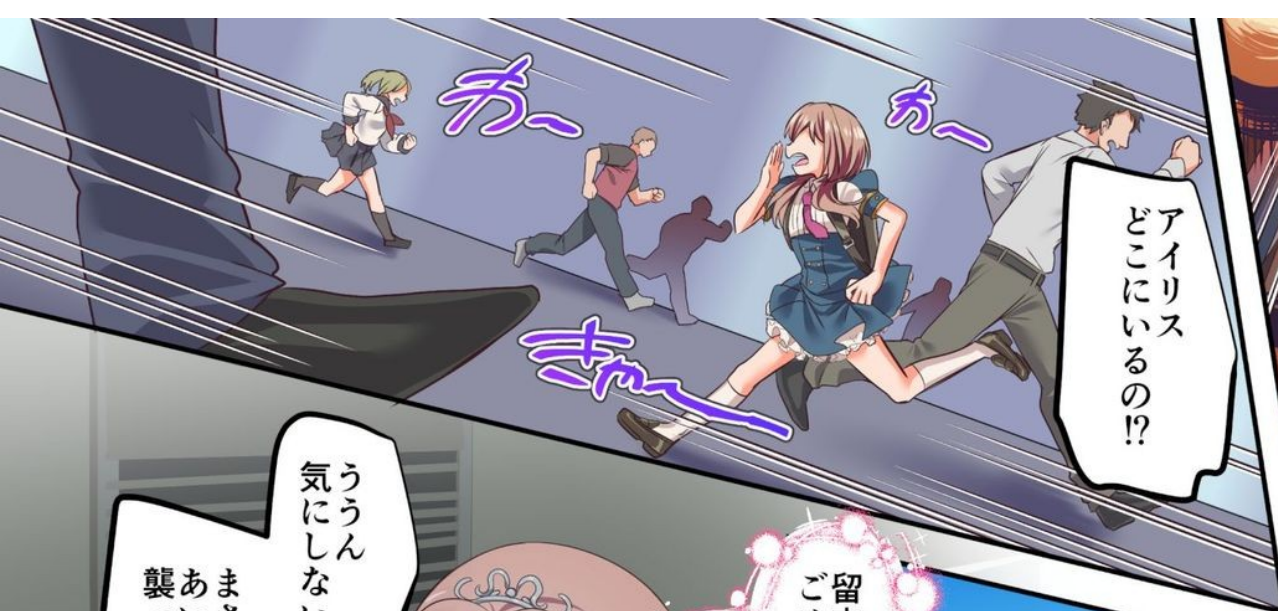
アイリスの可愛い一面も
見られたのは嬉しいいな

オオオオ

っ!!

嘘っ
アビステラー!?

この前追い払ったに
ばかりだってのに!





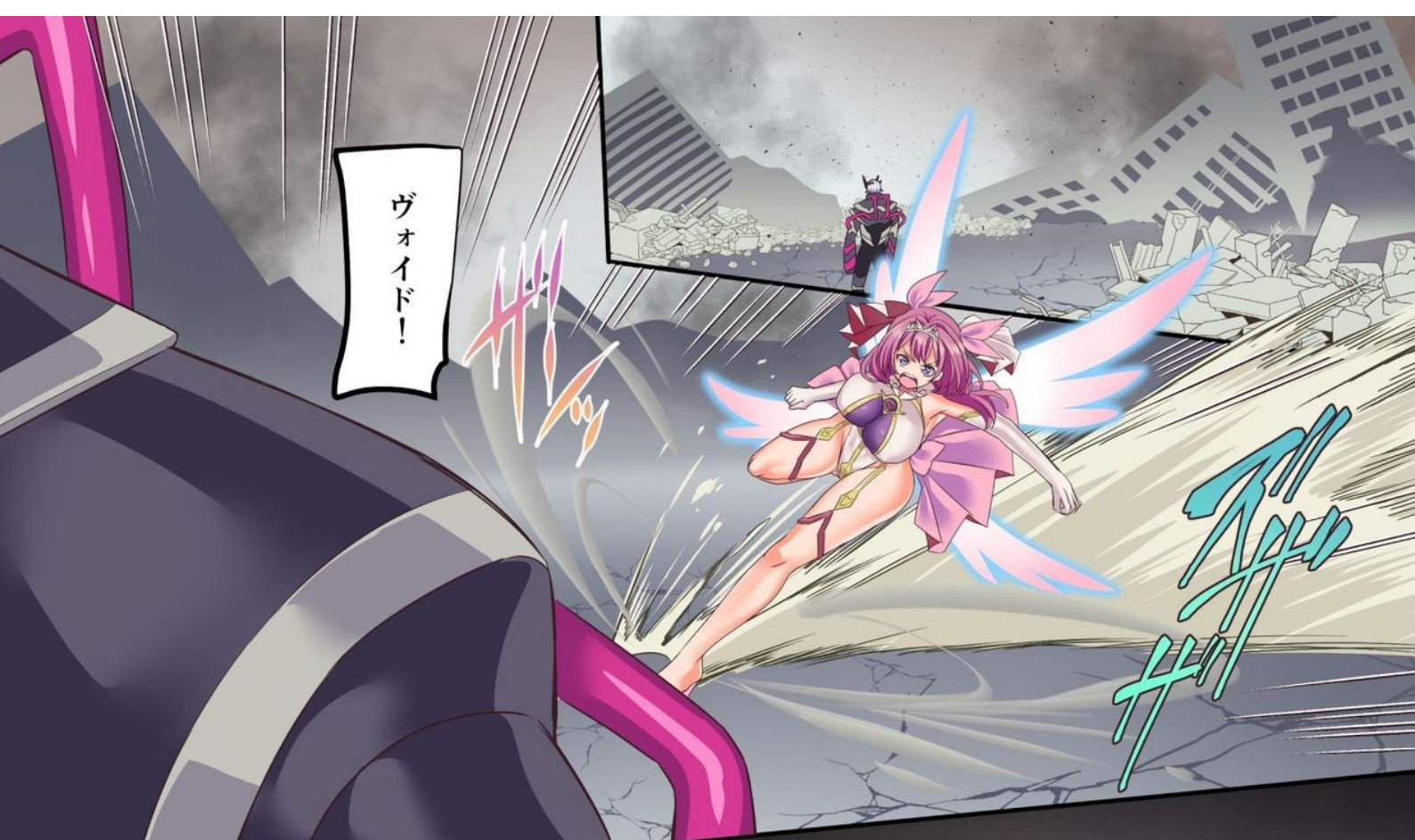
す...

アッ

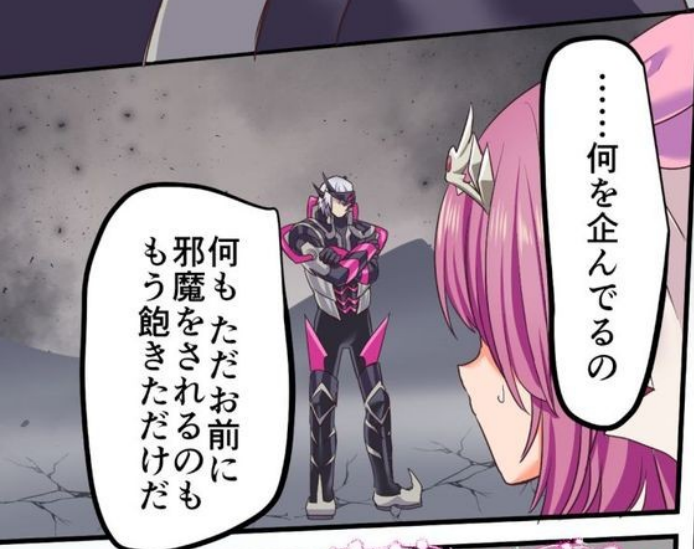
パッ

エカ

よしこのまま
一気に駆けつけるよ!



ヴォイド!



……何を企んでるの

何もただお前にも
邪魔をされるのも
もう飽きただけだ



うん!

光里
罠の可能性も
あります
ここは慎重に
相手の出方を
見ましょう



ようやく来たか
フェリシア

今日こそ決着を
付けようじゃないか

お前が存分に
戦えるように
ご覧の通り
人払いは済ませて
おいたぞ



手加減はなしよ!

ヴァイオレット・スラッシュ!

うそっ
片手で!?

つまらんな
この程度の
フェリシア?

え...?

この程度は
易々と
受け止めますね
さすがヴォイド



バレてたのね！
でもそんなわけ
ないでしょ!?

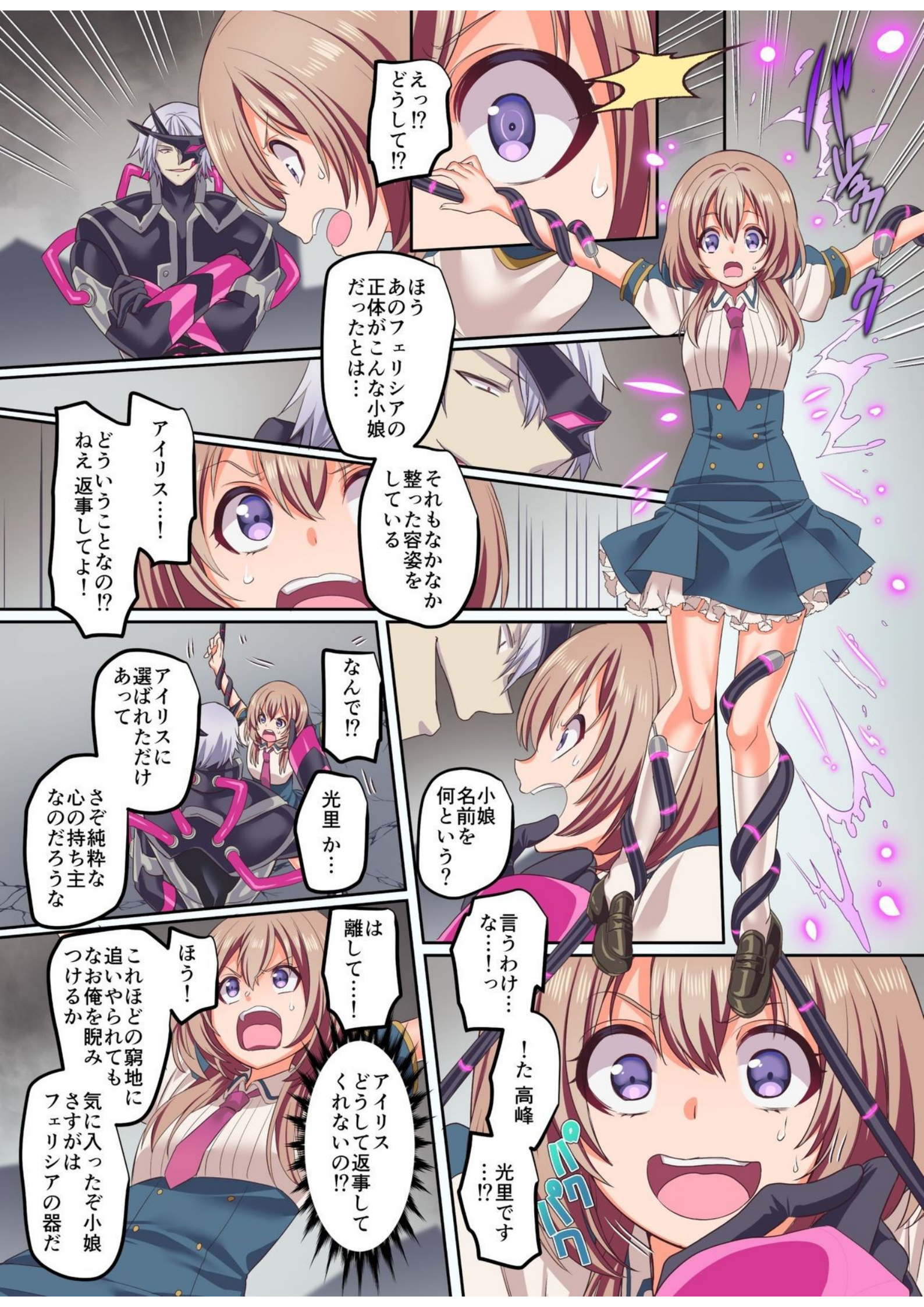
お前の中にいる
アイリス姫が
力を貸すことを
拒んでいるからだ

くくっ
ならば証拠を
見せてやる

アイリス

変身を解け

はあい♡



えっ!?
どうして!?

ほう
あのフェリシアの
正体がこんな小娘
だったとは...

それなかなか
整った容姿を
している

アイリス...!
どういふことなの!?
ねえ返事してよ!

アイリスに
選ばれただけ

さぞ純粋な
心の持ち主な
のだらうな

なんで!?

光里か...

小娘を
名前を
何という?

言うわけ...
な...!っ

!た高峰

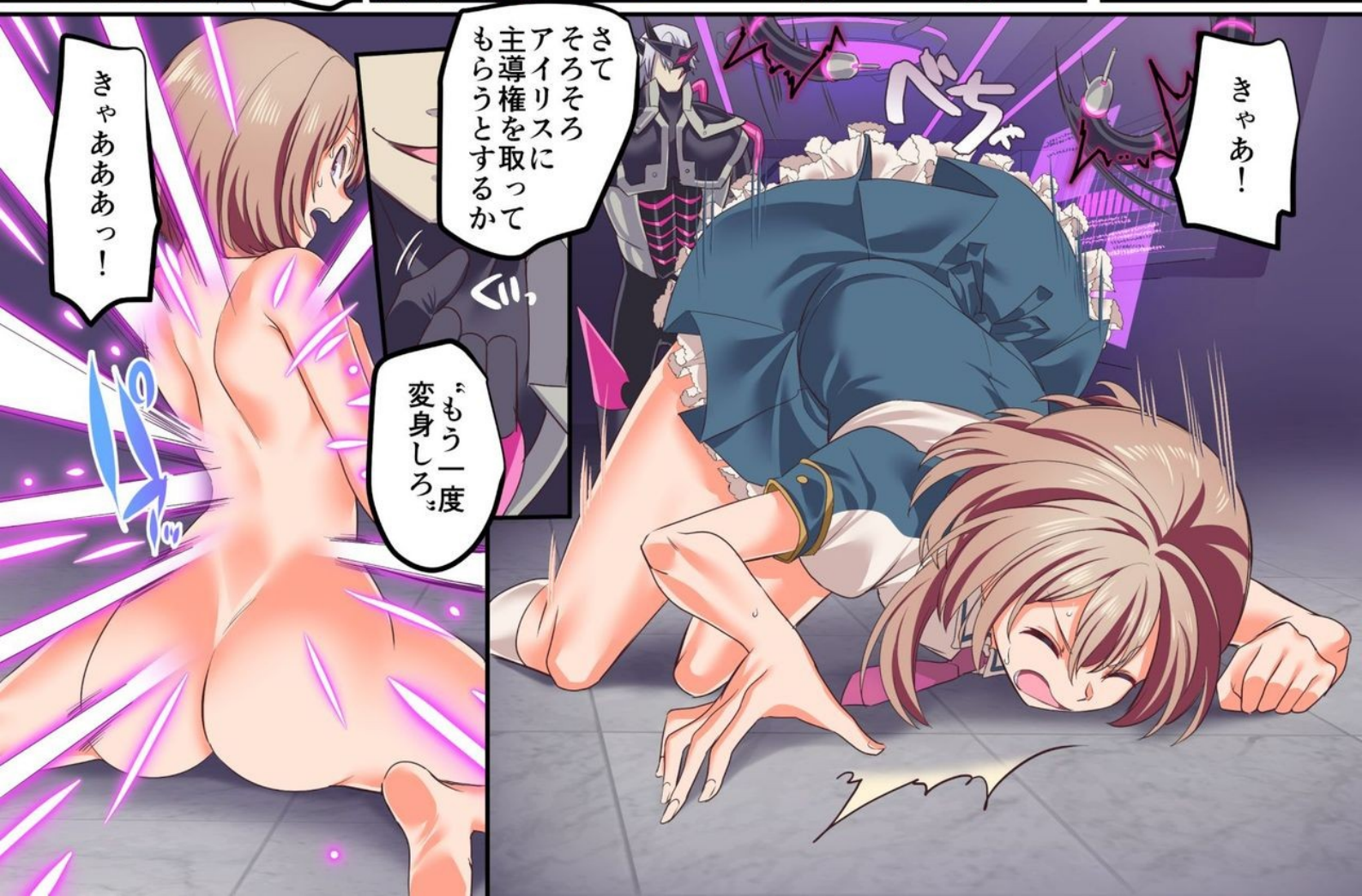
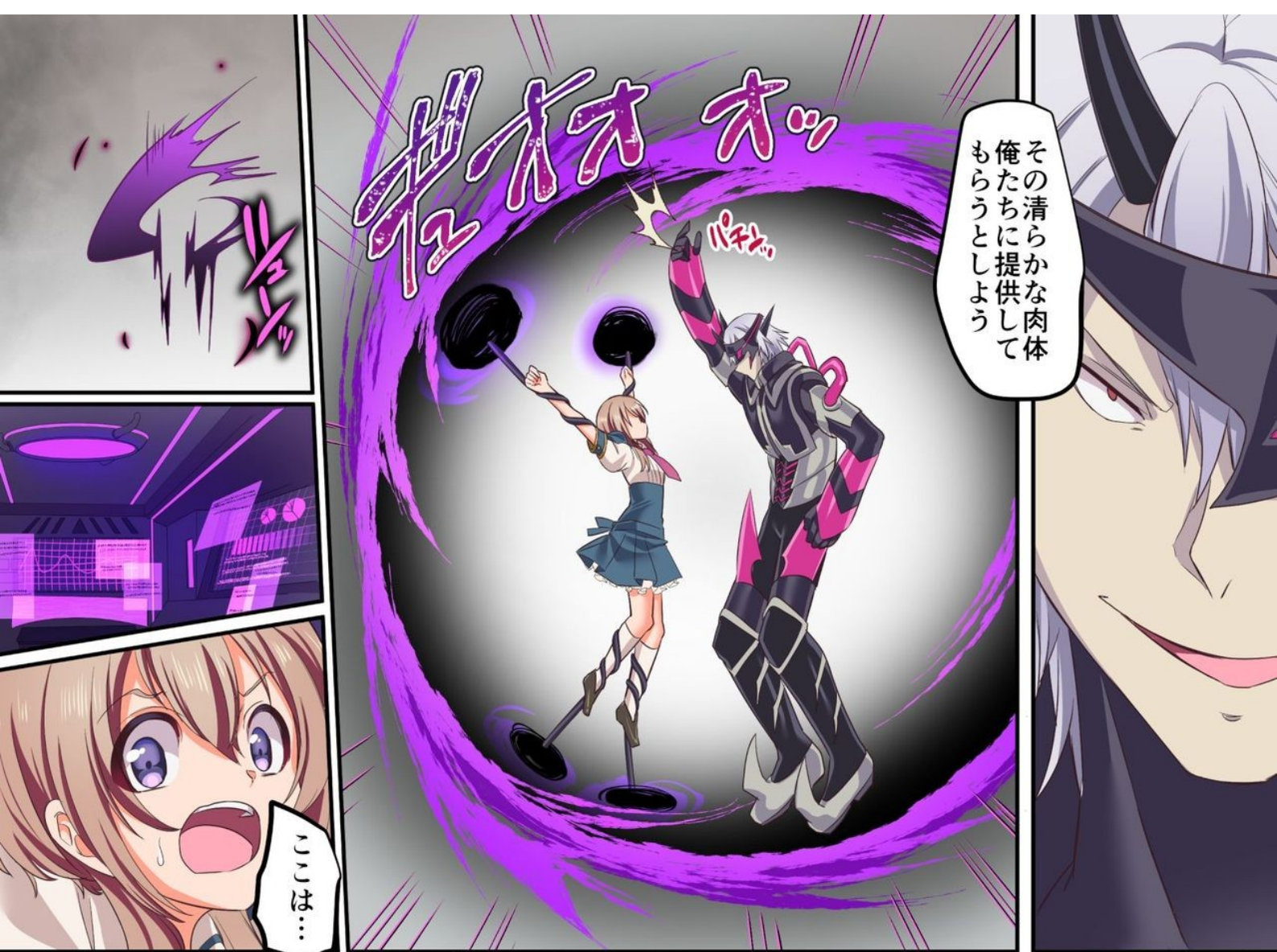
光里です
...!?

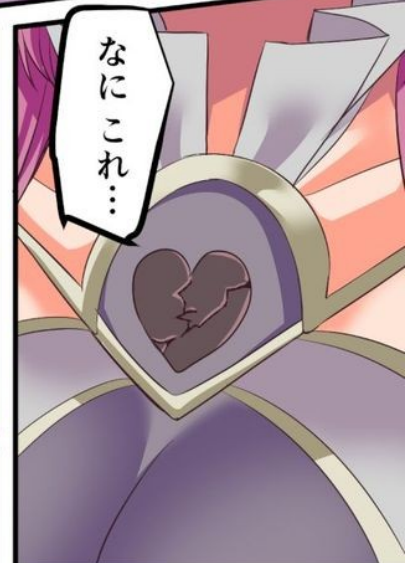
は
離して...!

アイリス
どうして返事して
くれないの!?

ほう!

これほどの窮地に
追いやられても
なお俺を睨み
つけるか
気に入ったぞ小娘
さすがは
フェリシアの器だ

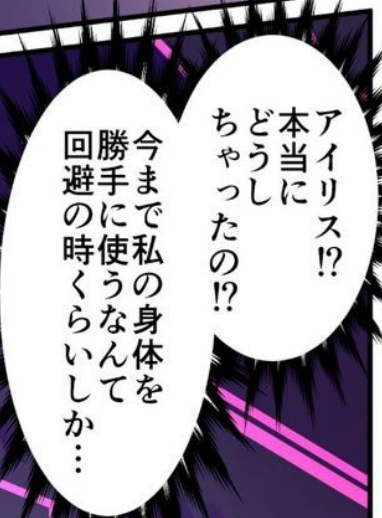




なにこれ…



アイリス
表に出てこい
今からその身体の
支配者はお前だ



アイリス!!
本当に
どうし
ちゃったの!?

今まで私の身体を
勝手に使うなんて
回避の時くらいしか…



ふふふ
光里もすぐに
分かります



…はあい♡
ごめんなさいね
光里
このカラダ
ヴォイド様の
ために使うこと
にしたんです



ちよつと!
勝手に何言って…



その姿はお前の
再誕の時が
近い証拠だ

さっきから何を
言ってるの!?

あなたがアイリスに
何かしたんでしょ!?

答えてヴォイド!

ああ俺とお前で
新たなアビステラーの
戦士を生み出そう

ややめて…!!

さあヴォイド様
このカラダを
たっぷりと貴方様の
色に染めてくださいませ

ヴォイド様あ…

んむ…

んちゅ…
んふぁ♡

愛していまふ♡

くくあの憎き
フェリシアであっても
雌の表情というのは
実にそそるな

ひ酷い…!!
私のファースト
キスだったのに…!!

毛み
毛み

毛み…

ちゅっ

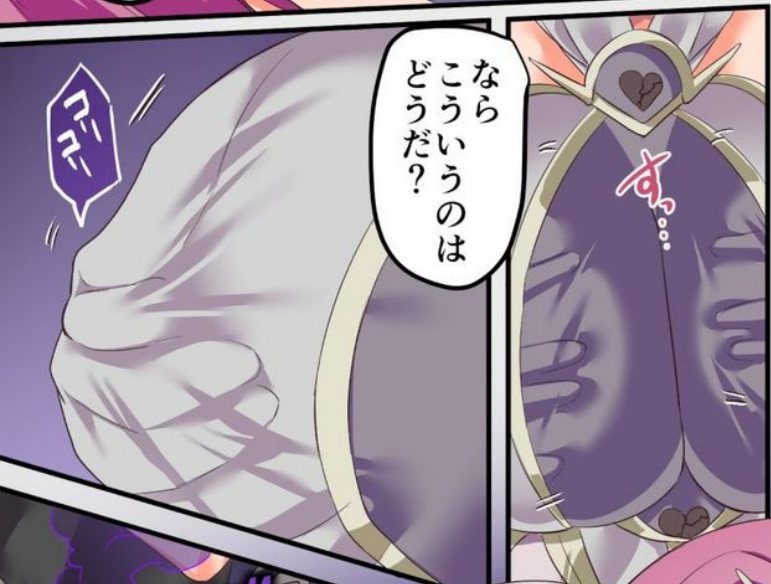
ね
ね

ちゅっ



このカラダがどんどん
昂ってきちゃいます♡

よかったあ♡
私も気持ち
いいです♡



なら
こういうのは
どうだ？



んふあっ♡
ヴォイド様は胸が
好きなんですネ

ああ
揉みごたえの
ある女は最高だな

んああっ！
もうやめてえ！

さてそろそろ
入れさせて
もらおうとするか

私感じて
しますっ♡

あはあああっ♡
それとても
イイですう♡

もみ



ズ
ズ
ズ

ヴォイドは
アイリスの世界を
滅ぼしたんだよ!?

そして
この世界も…

全部めちゃうくちやに
されちゃうんだよ!?

んんふっ!

それが何か?

私にはもう
ヴォイド様以外
何も必要
ありません♡

光里
それはあなたも
例外ではありません

私のお友達
だったの
であえて意識は
残してあげて
ました

聞き分けが悪い
ようなので
完全に身体を
乗っ取って
しまいますね♡

え…?
嘘でしょ?

待って待って
アイリス!

話を聞いて
おねが

はい

さようなら♡

ポキリッ…

お遊びは
終わったか？

はいできれば
光里にもヴォイド様の
素晴らしいさを理解して
もらいたかったのですが

そろそろ頭の中で
騒がれるのも
鬱陶しかったので

このまま私の一部に
なってもらいます

くくではお前同様
肉体ごと堕ちて
もらおうとするか

はいっはいっ♡
お願いします

光里のカラダを
私の新たな肉体を

貴方様の力で
生まれ変わらせて
ください♡

ならばラスト
スパートだ！

俺の力で堕ちろ
フェリシア!!

んあっ♡
あっあっ♡

あああッ♡

は激しっ♡

素敵ですヴォイド様あ
んはあ~~~~♡♡♡



突かれるたびに
身体が馴染んで
いきます♡

いえ…
それだけでなく♡



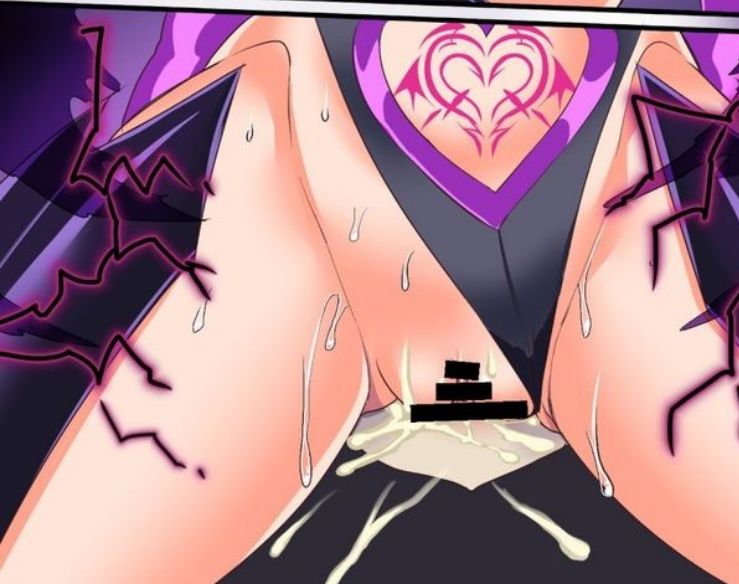
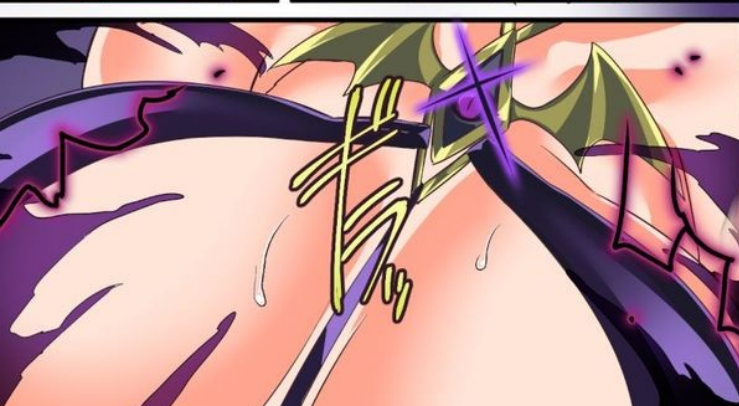
ひかり
アイリス
私
の中で渦巻いてえっ♡

くるっ♡キマます♡



もっと…
大きな♡

何が…っ♡



暗黒魔姫
ダークフェリシア
ここに再誕いたしました

ヴォイド様
私のすべては
貴方様の御心の
ままに…ふふふ

その肉体に
定着できたか
アイリス

はい♡

正確には
アイリスと
光里の意識が
混ざり合っ
ているので

どっちか
というわけ
ではないで
すが

ヴォイド様
の忠実な
しもべで
あること
に変わり
ありません

そうか
遂に手に入
れること
ができた
んだな！

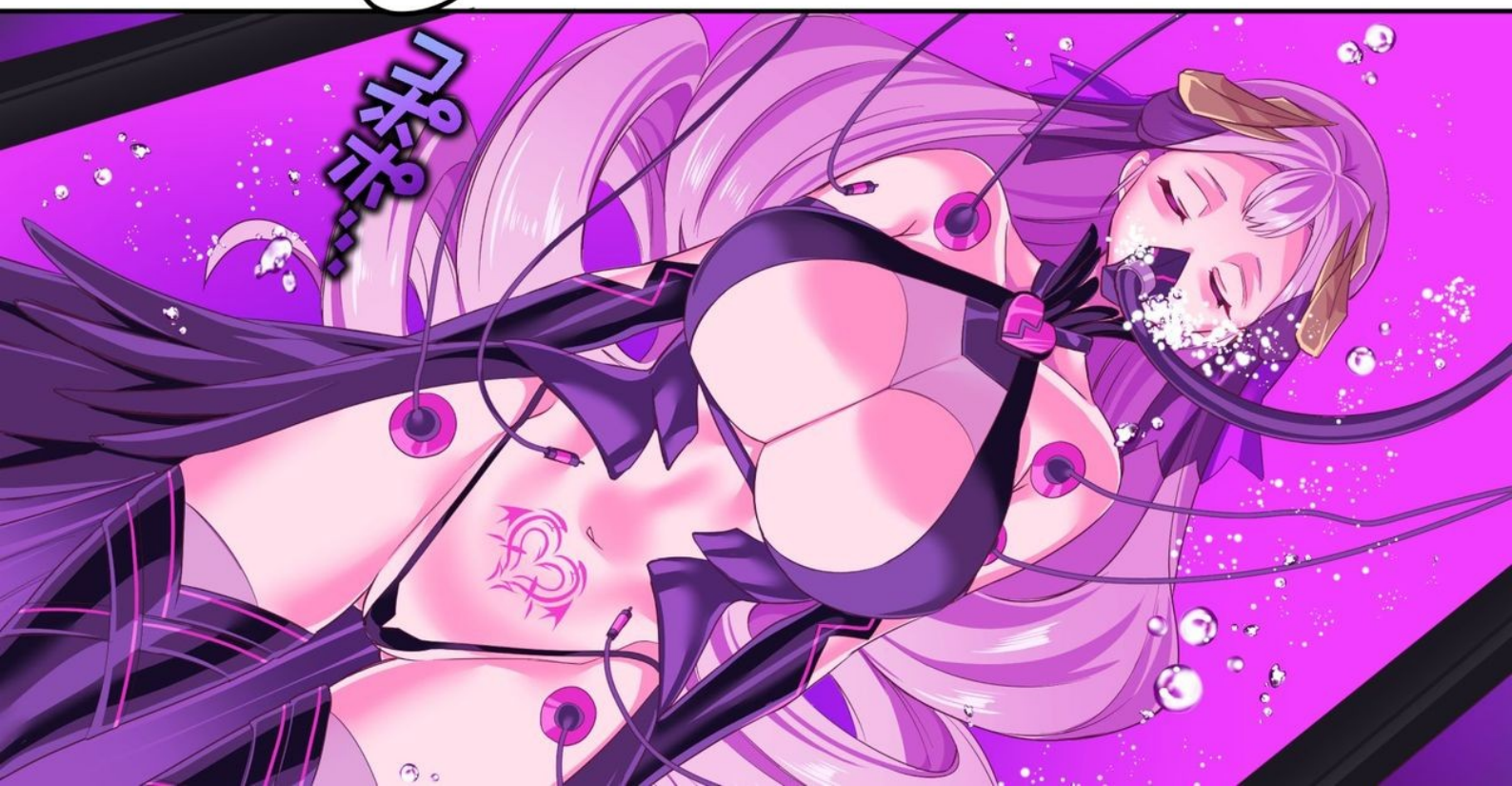
あのフェ
リシアを！
ははは！

これでア
ビステラ
ーを邪魔
するもの
はいない！

喜んで頂
けて私も
嬉しいで
す♡



お前という強大な
戦力を手に入れた今
この世界を支配
するのも容易いだろう





くくっ
まさかお前の
肉体を操ることに
なるとは…

あはは！
逃げ惑いなさい！
私に切り裂かれたく
なかったらね！



女のカラダ
というののも
悪くないものだ

んっ！

もみ

そうだな

そのカラダは
ヴォイド様専用
なんですから

思い通りに
動かないわけが
ありません

当然です♪



しかし
想像していた
よりも良く
馴染む…

発揮できる力が
元の肉体とは
段違いだ

ここの制圧が
終わったら
ご褒美頂けますよね
ヴォイド様

ああ消した
命の数だけ
お前をイカせてやる

やったー♡

なら
張り切っちゃい
まーす♪



どうだアイリス？

いや
ダークフェリシアに
元の自分のカラダに
犯される気分は？

あっ！ああっ！
ああんっ！

最高ですっ
ヴォイド様あ♡

ヴォイド様に犯して
もらっていると
考えているだけで
私、何回もイッてます♡

んっ！
んあああっ！

お前のカラダも
なかなかいいぞ…

肉体改造を
施したとはいえ
ここまで快楽を
味わえるとは…

これは病みつきに
なりそう…だ…
んんっ♡

んあああっ♡

ああっ
嬉しい…♡

私のカラダで
ヴォイド様に
喜んで
もらえるなんて…

生まれ来れて…
いえ生まれ変わって
本当によかった…♡

ぬぐぐぐ

ぬぐぐぐ
ぬぐぐぐ



ヴォイド様…

ヴォイド様あ
私、もうっ♡

お、おいっ♡
き、急にそんなに激しく
突かれたらっ♡

んあっ♡あっ♡
あああっ♡

あぁあぁ
あぁあぁ

あぁあぁ
あぁあぁ

あぁあぁ
あぁあぁ

はあ…
はあ…

これから俺のために
たっぷりと
働いてもらうぞ
フェリシア

はい、喜んで♡

アッアッアッ

アッアッ

アッアッ

